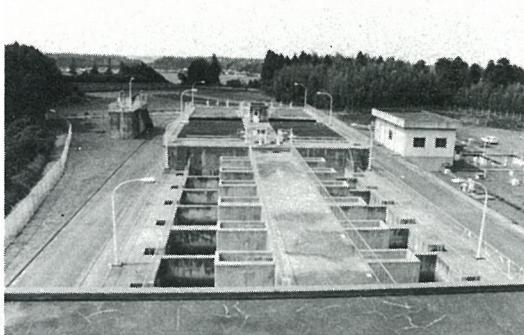


水！とても大切ですね

私たちが毎日生活をするうえで、かかることができないのが「水」です。

そこで、皆さんの家庭で毎日使われている水道の水が、栗山川から各家庭に運ばれるまでを

お知らせするとともに、水源である栗山川を浄化する方法について考えてみたいと思います。



水道の心臓部光浄水場(傍示戸)



水を取水する宝米取水場

取水設備と導水管

栗山川の水を取水門で取り入れます。次に導水管で浄水場へ運びます。また、この水は原水で、まだ飲むことができません。

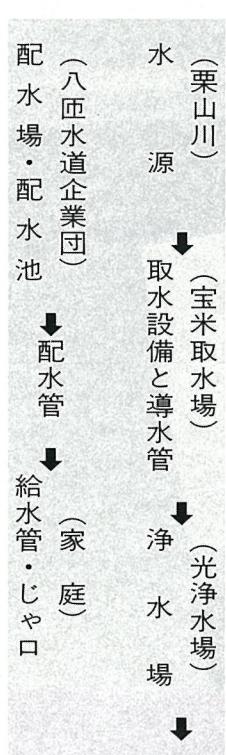
ここは原水に手を加えて飲用水にするところで、水道の心臓にあたり、次の順序で浄

○沈でん池
水の作業をします。
沈でん池→ろ過池→消毒
水に薬品を入れてかきまぜ
それからゆるやかに流し、水中の浮遊物を沈でんさせます。

○ろ過池
砂の層でゆつくりこして、
水の中の微細な浮遊物や細菌などを除きます。これで水は飲めるようになりましたが、まだ十分に安心できません。

配水管

配水管は道路の下を通り、よい水を各家庭に配ります。



配水場・配水池

水道の水は清潔なだけでは十分ではありません。台所のじやく口から豊富にいきおいよくでてくるようにしなければなりません。

配水場はこの役目を受けもつ大切なところです。配水池は、水をためて1日の水の使い方のむらを調節します。また、配水池を高い所につくり、増圧ポンプをつけ、水圧がかかるようにします。

○消毒
仕上げの段階です。微量の塩素を入れ、万が一の場合に病原菌を死滅させるようになります。ここで安全な水になります。水源がきれいな水の場合でも塩素の消毒だけは必ず行うことになっています。このため、水道の水はにおいこともあります。これが安価な印です。